

第2学年 保健体育科 学習の手引き

1 教科の目標

- (1)運動の合理的な実践を通して、楽しさや喜びを味わうことができるようにする
- (2)運動を豊かに実践することができるようにする
- (3)体力を高め、心身の調和的発達を図る
- (4)運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる
- (5)運動を通して、人との関わり方やコミュニケーション能力を養う
- (6)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を養えるようにする

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	○各種目の特性やルール、健康安全について理解し、学習した基本用語や学習した具体例を発言したり、書き出すことができる。 ○各種目の基本的な技能ができる。	・授業取り組み ・小テスト ・技能テスト ・期末考査テスト
II 思考・判断・表現	○自分に適した課題を理解し、書き出すことができる ○仲間と課題共有を図り、解決しようしたり取り組むことができる。 ○練習の仕方やゲームの仕方を工夫し、ポイントを押さえて運動に取り組もうとしている ○仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を身につけている	・授業取り組み ・学習カード ・期末考査テスト
III 主体的に学習に取り組む態度	○集合、整列、忘れ物、見学状況等、授業への参加意欲がある。 ○説明、指示などを聞き、活動に積極的である。 ○提出物を期限内に提出できる。 ○健康・安全に留意することができる ○練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている	・行動取り組み ・提出状況 ・期末考査テスト

3 年間指導計画

学期	1 学 期（6～7月）	2 学 期（8～12月）	3 学 期（1～3月）
単元	・集団行動、スポーツテスト ・陸上競技、ダンス ・球技、水泳 ・体育理論・保健分野	・器械運動 ・球技 ・陸上競技 ・体育理論・保健分野	・武道 ・球技 ・体育理論、保健分野

4 学習のポイント

【知識・技能】

- ・種目ごとにABCの基準を定めて評価する。
- ・基本的な運動の技能が身についているか、応用ができるかどうかを技能テストで評価する。
- ・主に学期ごとの定期考査で、種目ごとの基本的な知識やルールが理解されているかをテストする。
- ・保健は、授業内容を聞き、プリントやノートにきちんときれいにまとめておくようにする。

【思考・判断・表現】

- ・自身の課題に気づき、目標をもって運動に取り組むようにする。
- ・学習を振り返り、運動のポイントや課題についてよく考え、実践しようとしている。
- ・仲間との課題の共有やアドバイスなど練習の仕方を工夫している。
- ・学習カード A：学習を振り返り、技能のポイントについてまとめている。
また、自己の課題や問題点に気づき、次への目標が定めている。
B：感想が中心で、学習内容や自己の分析などが十分ではない。
C：感想のみ書かれている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・得意な種目だけに一生懸命になるのではなく、苦手な種目にも積極的に取り組む。
- ・単元ごとに定められたルールを守り活動する。
- ・提出物の期限を守る。
- ・忘れ物をしない。
- ・説明、指示をよく聞き理解し、安全に留意して取り組む。
- ・仲間との協力の場面で、自ら進んで参加している。（補助、助言等）